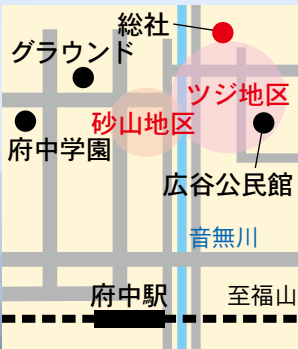


ふちゅう歴史散歩

Vol. 79

備後国府跡の出土品⑧ 国府の建物に葺かれた瓦



砂山地区とツジ地区



平城京の瓦屋根の様子
(平城宮跡で撮影)



軒丸瓦

軒平瓦

備後国府の建物の軒を飾った瓦は、都(平城京)に葺かれた軒瓦と似ています

備後国府では、奈良時代中頃(8世紀中頃)の瓦がツジ地区や砂山地区(元町)でまとまって出土しており、その時期に、国府の重要施設が瓦葺きに整備されたと考えられています。

当時の軒瓦には、蓮の花や唐草の文様が付いていますが、これらの文様は、木製の范型に粘土を押し込んで付けていたので、同じ文様の軒瓦は、同じ范型で製作されたことが分かります。また、范型は何度も繰り返し使用されると傷ついていくため、出土した瓦をよく観察すると范傷が見られるものがあり、傷の様子から、製作された時期の前後関係を推定できます。

写真の軒瓦は、「備後国府系瓦」とも呼ばれるもので国府に關係するような備後南部地域の遺跡から広く出土しています。その中で、砂山地区出土の軒丸瓦には傷がなく、同じ范型で製作された瓦の中で最も古いものであることが分かりました。

このことから、この軒瓦がまず砂山地区で採用された後に、国分寺など備後南部に広がったと考えられます。

砂山地区には、国府の中でも特に重要な施設があったのかもしれない。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その38

「府中学びフェスタ」のポスターに採用されて

私は上下高校の美術部に所属しています。6月の中ごろ、顧問の先生から「府中学びフェスタ」のポスターデザインの募集の話を知りました。「府中学びフェスタ」は、中学生のころから、合唱などで参加し、よく知っている祭りだったので、興味もあってポスターデザインに応募してみようと思いました。

このポスターのデザインを描くにあたり、府中市内、特に上下町で行われている祭りを写真風に描き、みんなに知ってもらいたいといったアイデアが浮かんできました。しかし、その構

成を考えるのに時間を要し、色を塗り始めるころには締め切りが近づき、少々焦りながら最後の仕上げをしていました。

作品が選ばれたと聞いた時は、最後まで諦めず仕上げ、応募して良かったと思いました。賞に選ばれたことは、私のこれからの人生にとっても大きな励みになると思いました。ありがとうございました。

投稿者 (文と写真) 上下高校2年生
末重実玲さん



平成29年11月1日(1230)号

広報ふちゅう

(毎月1日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。